



2010 年 9 月 3 日
アクサ生命保険株式会社

アクサ生命、ブラインドサッカー『スポ育(出張授業)プロジェクト』の展開を支援

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表執行役社長兼 CEO マーク・ピアソン)は、2006 年より実施しているブラインドサッカーの支援活動の一環として、日本ブラインドサッカー協会(JBFA)が今年 9 月から開始する『スポ育(出張授業)プロジェクト』を支援します。

『スポ育プロジェクト』は、ブラインドサッカー選手らが小学校に出向き、授業の一環として視覚障害者と共にスポーツを楽しむ機会を提供するプログラムで、子供たちが自然な形で障害者への理解を深め、チームワークの大切さなどを学べるよう、デザインされています。アクサ生命は、2006 年よりブラインドサッカーの普及と認知向上活動を支援しており、今回のプログラムが障害者理解の促進のみならず多くの学びを子供たちにもたらすという点に着目し、支援を決定したものです。

アクサ生命は支援策として、授業用のワークブック、教育関係者向けリーフレット、申し込み受付用の特設サイトなど、同プロジェクトに必要なツール類を制作して JBFA に寄贈します。また、ボランティア休暇などを活用し、出張授業の運営サポート要員として社員ボランティアを派遣します。

アクサ生命は今後も、障害者スポーツの普及や認知向上支援、社会のダイバーシティ推進に資する地域活動支援など、私たちが属するコミュニティや社会の発展に寄与する活動を行ってまいります。

【ブラインドサッカー スポ育プロジェクトならではの学び・気づき】

障害者理解

視覚障害者の選手と接することで、障害者＝特別ではないことに気付きます。

ボランティア精神

ブラインドサッカー体験を通じて、積極的に人の力になろうとする姿勢を学びます。

チームワーク

目が見えない状況から積極的に仲間とコミュニケーションをとります。

個性の尊重

個性(状況)を認識した上で、自分に何ができるか考えます。

コミュニケーションの重要性

コミュニケーションの取り方やタイミング等、その本質について考えを深めます。

(↑教育関係者向けリーフレットより抜粋)

スポ育プロジェクト公式サイト:www.supoiku.b-soccer.jp

(出張授業のオンライン申し込みほか)

日本ブラインドサッカー協会(JBFA)

国内の視覚障害者サッカーにおける統括組織として、同競技の普及・発展と競技力の向上に寄与することを目的として活動。JBFA 理事長には、日本サッカー協会副会長の釜本邦茂氏の実姉である釜本美佐子氏(全国視覚障害者外出支援連絡会会長)が就任しています。JBFA は、数年前から一部の学校関係者からの要請で出張授業を実施してきましたが、好評を得ており、このほどアクサ生命などの支援により、ブラインドサッカー『スポ育プロジェクト』として本格展開することとなりました。

AXAグループの社会貢献活動

AXA グループは、フィナンシャル・プロテクション分野で世界をリードするグローバル企業です。ヨーロッパ、北米、アジア太平洋地域を中心に、世界各国で事業を展開しています。AXA グループは、コアビジネスであるフィナンシャル・プロテクションの延長線上に社会貢献活動を位置づけ、世界各国でさまざまな活動を行なっています。AXA はパリ証券取引所に株式を上場しています。詳細は www.axa.com をご参照ください。

～本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします～

アクサ生命保険株式会社 広報部

電話:03-6737-7140 FAX:03-6737-5964

<http://www.axa.co.jp/life>